

オプトアウト

【研究課題】

足関節果部骨折術後患者の全荷重開始時期における自立歩行獲得に影響を及ぼす因子の検討～患肢重心移動能力の観点から～

【研究計画の概要】

○目的

足関節骨果部骨折術後患者の全荷重開始時点での自立歩行獲得に影響を及ぼす因子を明らかにし、荷重開始前の予後予測、適切な治療介入内容について検討するための一助とすることを目的とする。

○研究期間

令和3年3月～令和3年10月まで

○対象となる方

足関節果部骨折術後に荷重制限を要した患者とし、除外基準は両側の足関節果部骨折、既往歴に神経疾患、脳血管疾患を有するものとした。

○研究に使用する試料、情報

情報：疾患名、年齢、性別、術式、足趾把持力、膝伸展筋力、浮腫・疼痛の有無、足関節可動域、重心動揺、足部機能評価等

○その他

患者様の情報の取り扱いに関しまして、匿名化して扱いますので、お名前など個人が特定される情報が外部に出ることはありません。さらに、研究成果を学会や論文等で発表させていただく場合は個人情報公表することは一切ありません。

【問い合わせ先】

茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部 理学療法士 関 直人

電話：0280-87-8111